

三教指帰と空海

さんごうしいき

偽撰の文章論

かわちしょうえん
河内昭圓 著

▼四六判・並製カバー装・二四二頁 本体二、三〇〇円十税

2017年5月刊行



さんごうしいき
空海の名著『三教指帰』は
空海のものではない!

真筆本『響誓指帰』との比較を通じて通説をくつがえし、空海像を描き直す。「文章論」で迫る画期的な空海研究。「三教指帰偽撰説」を提唱した著者が、その内容を丁寧に論述した待望の書き下ろし。

【目次】

序

「空海の風景」
司馬遼太郎は『響誓指帰』とは書いていない
「遊仙窟」と空海
『三教指帰』から『響誓指帰』へ

一、『三教指帰注集』の出現——偽撰の予感

山田コレクション
『三教指帰注集』への注目
『三教指帰』の古い注釈書
「成安注」
偽撰の予感

二、『響誓指帰』について

国宝『響誓指帰』の書誌
弘法も筆を誤る
『響誓指帰』の伝来
本文の結構
賦の形式と四六駢儷文の文体
序文は文学論
執筆の動機
十韻詩の導入部
十韻詩

三、『三教指帰』について

両指帰の相違点
序文は自叙伝
虚空藏開持法
出家宣言
執筆の動機
十韻詩
序文との呼応関係

四、『三教指帰』偽撰の明拠

本文の適正な改変
本文の適正を欠く改変
改変のための改変
対句に関わる改変
韻字に関わる改変
助字に関わる改変
多字形の改変
用語に時間差が認められる改変

五、空海伝をめぐる諸問題

『響誓指帰』の自注と『三教指帰』
「雲童」「澹倍」の出典と解釈
「摂津の国の古俗」と神戸
「澹倍」は小豆島の小部か

結

偽撰の時期
主要参考文献
図版出典
跋

著者略歴

一九三八年生まれ。六二年、大谷大学文学部支那学科卒業。六八年、大谷大学大学院博士課程満期退学。八四年、大谷大学教授。二〇〇四年、大谷大学名誉教授。主な著書に、『江南游記』（文栄堂書店、二〇一四年）、『平野五岳詩選訳注』（日田専念寺、二〇一〇年）、『東西文学の世界』（共著、朝日出版社、一九九一年）他、中国・唐代文学に関する論文多数。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
河内昭圓 著	
法藏館	
本体二、三〇〇円十税	
三教指帰と空海	
偽撰の文章論	
ISBN: 978-4-8318-7713-0 C0015 Y2300E	
お名前	お住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・文学